

お知らせ号

広報むなかた

むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページ
http://www.city.munakata.lg.jp/
宗像市公式フェイスブック
https://www.facebook.com/munakata.city
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行:宗像市
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
代表:総務課
☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集:秘書政策課広報報道担当
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

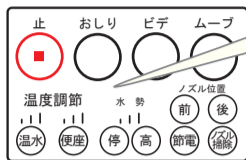
毎月1日・15日発行

CO₂を減らして地球に優しく!

平成27年8月1日号

夏はトイレの便座暖房をOFFにしましょう

温水洗浄便座の電源を切ると、年間のCO₂削減量は15.0kg-CO₂、年間節約額は710円になります(経済産業省「家庭の省エネ徹底ガイド」から)。



季節に合わせて温度調整も

OFF



問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421

は、市広報紙以外の団体発行物です。

1~8,12~16	9,10	ユリックス・サラダ	議会だより	11	16,18	17	18
お知らせ	社協だより			市民学習ネットワーク	市民	施設だより	そうだん

この手紙には、宗像という地名が出てきています。手紙の主は、幼少期を宗像で過ごした林市造さんという人です。市造さんは、2歳の時に父が急死。その前後、母の実家である吉武で約10年間

お母さん、とうとう悲しい便りを出さねばならないときが来ました。「親思ふ心にまさる親心 今日のおとずれなんと聞くらむ」この歌がしみじみと思われます。この手紙は出撃を明後日にひかえて書いています。博多上空を通ります。宗像の方も通りますから。桜の西公園を遠目に遥か上空よりお別れします。(一部抜粋)



今年は終戦から70年という節目の年。先の大戦を記憶している人も年々減りつつある今、平和を守り、戦争の惨禍を二度と繰り返さないためには、いかに後世に戦争のことを伝えていくかが重要です。宗像にも亡くなった人がたくさんいます。ここでは、特攻で亡くなった人が多くて書いた手紙を紹介いたします。

問い合わせ先 秘書政策課広報報道担当 ☎(36)1055

決して 忘れてはいけ ない 戦後70年

市造さんが母にあてた手紙を掲載している「母への遺書」林市造/著・多田茂治



生活してました。京都帝国大学に入学するも、学徒出陣で海兵団に入団。操縦技術抜群であると特攻隊に編入されます。朝鮮の元山航空隊で沖縄特攻の命を受け、鹿屋基地に移動する直前の昭和20年3月31日に、母に決別の手紙を書いていきます。この手紙は、日本の学徒兵の遺書を集めた「きけわだつみのこえ」をはじめ、多くの遺稿集や戦記に収録されています。市造さんの手紙は、さまざまな書籍に引用されていますが、日本

黙とうを ささげましょう



先の大戦で亡くなった人を追悼し、平和な世界の実現を祈念するため、全国で式典が実施されます。家庭や職場、地域でも、戦没者・原爆死没者のめい福と恒久平和を願って、1分間の黙とうをささげましょう。

日時

▽広島原爆投下の日

8月6日(木) 午前8時15分

▽長崎原爆投下の日

8月9日(日) 午前11時2分

▽終戦記念日

8月15日(土) 正午

問い合わせ先 高齢者支援課 ☎(36)9288



林家の墓地は、市造さんの父の出身地・徳重にあり、納骨堂の横には、市造さんの慰霊碑と母・まつゑさんが詠んだ悼歌の一首を刻んだ歌碑が建っています

燃やすごみ収集の休み 8月13日(木)~同15日(土)

盆の期間、燃やすごみの収集を休みます(大島地区を除く)。協力をお願いします。

*粗大ごみ、資源物受入施設、宗像清掃工場(自己搬入)、不燃物埋立処理場、大島自己搬入は通常どおり受け付けます

*資源物受入施設、宗像清掃工場(自己搬入)は、盆前後、利用者が多く混み合います。時間に余裕を持って利用してください

問い合わせ先 環境課 ☎(36)1421



特攻で亡くなった 林市造さん



- 大正11年2月6日、福岡市荒戸町生まれ(享年23歳)
- 昭和3年4月、宗像郡吉武村の吉武小学校入学
- 吉武小学校5年修了のとき、福岡市に転居
- 昭和9年3月、福岡市草ヶ江小学校卒業
- その後、修猷館中学、福岡高等学校、京都帝国大学へ進学
- 昭和18年12月、学徒出陣で佐世保の海兵団に入団
- 昭和20年2月特攻隊に編入
- 同年4月12日、与論島東方で敵艦に突入・戦死